



安全第一に1学期が終了します！

今までとは違う1学期が7月31日（金）の終業式（校内放送で実施）をもって終了します。実質2ヶ月間の登校という中子ども達は新しい学年を、新しい生活様式で、学習などの様々な活動に努力をしてきました。それも保護者の皆様のご支援、ご協力のおかげと感謝しております。

さて、1学期の終了にあたり、新学習指導要領に沿って改定された「のびゆく子ども」（通知表）が担任から子ども達に渡されます。そこで、次の言葉を紹介いたします。

草や木は、お日様に向かって伸びます。人間はおとなも子どもも、喜びのある方向に向かって伸びるといえないでしょうか。子どもを勉強好きにするのもどうするのにもカギは、喜びを与えるかどうにかかっているようです。（中略）子どもとしては精一杯努力しても思いがけない問題がテストに出されたため50点しかとれない場合があります。ところがそんなとき、お母さんやお父さんのほとんどは努力の方を認めようとしません。何という困った子だろうかと小言をいってしまいます。そういうとき子どもは、口返しをすればさらに小言を言われるだけだから、ガマンして黙っていても「もう答案なんか見せてやるものか」と考えているにちがいません。大人だって努力が認められず失敗の方ばかり責め立てられれば、努力を放棄してしまいます。（中略）ですから、「それごらん、昨晚しっかり勉強しただけのことがあったじゃないか。ちゃんと〇が一つ増えたじゃないか。その調子だよ」というように努力の芽の成長を喜んでやる。そうすることによって、「芽」はさらに成長すると思います。徐々に根気よく芽の成長を見守り、喜びの言葉をかけていくべきだと思います。

（東井義雄：明治45年 兵庫県生まれ 小学校教師としてペスタロッチ賞、平和文化賞、文部省教育功労賞など受賞）

通知表は、子どもたちの学習や学校生活の様子を本人や保護者に知らせ、今後の学習の動機づけをしたり、家庭での指導や学校への協力の参考にしたりしていただく役割を持ったものです。数字や丸の数だけに一喜一憂することなく、子どもたちが「2学期もがんばるぞ！」と思えるような言葉をかけてあげてください。

お知らせ

○通知表の「出席停止欄」について

・「児童生徒等に発熱等の風邪の症状が見られるときに出席停止の措置をとる」（学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル Ver.2 より）の通りの扱いとなっております。

○運動会について

9月26日（土）規模を縮小して午前中のみ開催で、昼食なしで下校です。詳細案内は2学期に通知します。

（7月3日 PTA 運営委員会にて確認）

1年生が校長室にやってきた！（学校探検）

7月14日（火）3時間目

「お話聞いてもいいですか？」とたくさんの質問がありました。

「なんでこんなに写真があるんですか？」

「今までの毛野小の校長先生の写真ですよ。」



【プログラム委員の1年生アンケート】

「毎日何をしてるんですか？」

「みんなが勉強ができる 【校長室探検中】
ようになる方法を考えていますよ。」

「このせんぷうきはなんですか？」

「せんぷうきですよ。あついからね。」等々たくさんのかわいい質問がありました。人気は歴代校長先生の写真でした。広い毛野小学校を覚えるのは大変です。たくさんの教室をまわっていろいろ発見したと思います。



生命誕生

& リフォーム

ウサギ小屋に新しい命が生まれました。5、6年生の飼育委員やその保護者の方にお世話になりながら育てています。ありがとうございます。



【まだ目があきません 7/17 現】今は！是非ご覧ください。

○ウサギ小屋の屋根が新しくなり、ドームも高くなりました。



【AFTER うさぎ小屋】



毛野小のホームページで

「共励」のカラー版が見れます。

スマートフォンにも対応しています。

保護者の皆様へ

6月から本格的に授業が再開され、児童生徒の皆さんは、友達や先生方と一緒に過ごす事の楽しさを実感していることと思います。各学校では、「新しい生活様式」を踏まえた活動が行われておりますが、一方で現在、栃木県内では新型コロナウイルス感染者数が再び増加しており、学校においても感染者が確認されています。校内では、基本的な感染症対策を徹底しているところではありますが、感染リスクをゼロにすることはできません。ご家庭におかれましても、引き続き感染拡大防止に努めていただきますようお願いいたします。

また、県内においても、新型コロナウイルス感染症を理由とした不当な差別や偏見に苦しんでいる方々がいらっしゃいます。このようなことは、決してあってはなりません。児童生徒の皆さんには、決して差別的な言動に同調せず、正確な情報に基づいた冷静な行動をとって欲しいと思います。保護者の皆様におかれましては、このことについてぜひご家庭でお子様とともに話し合ってみてください。

もし、お子様が差別や偏見に苦しんでいらっしゃいましたら、家庭だけで悩まず、積極的に学校や関係機関に相談するようにしてください。

お互いを支え合い、誰もが安心して過ごせる学校をつくっていきましょう。

令和2(2020)年7月22日
栃木県教育委員会教育長 荒川政利